

令和7年度 武生商工高等学校 課題研究発表会

令和8年1月24日(土)
武生商工高等学校 アリーナ

発表テーマ：BIM を使った空き家のリノベーション

発表者 都市・建築科 建築コース

(4組) 氏名 奈良 彩央 宮嶋 優依 森本 七海 吉田 麗子

説明

県内外のさまざまな年代の方が利用できる、木造建築の古民家カフェを設計しました。空き家調査から1・2年生での学びを踏まえた図面作成、BIMでのモデリングまで取り組みました。

写真



発表テーマ：焼き印・キーホルダー製作

～ワンキャンパス化の強みを活かす～

**発表者 機械創造科（1組）氏名 黒田 大暉、服部 雅也、三好 勇太朗
谷口 淳平、山根 悠暉**

説明 目的は商業科と工業科がワンキャンパス化した強みを活かし、武生商工のオリジナル性を發揮することです。1年生から3年生の実習で学んだ技術を組み合わせて焼きごてを製作しました。製作した焼きごてでどら焼きに刻印を写すことができ、商エデパートでも販売されました。また、棗小学校の児童たちにプレゼントする木のキーホルダーは、デザインを商業科、加工を工業科が担当し、完成させることができました。

写真



発表テーマ：メイキングオイル～プラスチックから油を抽出～

発表者 機械創造科（2組）氏名 大塚 南音 岡村 一颯 山本 晴輝

説明 ガソリンは自動車の燃料として使われ、身近なものからガソリンを作れないかとの思いから研究を始めた。材料はペットボトルのキャップを用い、酸素のない環境で高温加熱し、その長い炭化水素分子鎖を熱分解によって短い分子に切断し油に戻すことを試みた。具体的には、プラスチックを熱することにより固体→液体→気体へと変化し、出てきた気体を冷却することによってガソリンのような油を抽出した。ペットボトルのキャップから抽出した液体を燃やした結果、蒸発燃焼が確認できた。つまり、ペットボトルのキャップから油を抽出することができた。

写真



3

発表テーマ：越前市の菊を使った商品開発

商業マネジメント科・情報ビジネス科

豊崎 優芽、田中 愛夢、下村 夢瑠、井藤明日香
佐々木結愛、山崎 來晴、小川 柚葉、藤井 穂香
酒井 琢武、安達 健悟、佐々木倫太郎

説明

越前市の名産である菊の魅力を広めるため、菊をモチーフにしたオリジナル商品を開発します。これらの商品は、武生商工高校での学習内容を紹介する役割も担い商工デパートでの販売活動を通して地域に発信していきます。

4

写真



発表テーマ：しきぶ駅のプランター製作

発表者 都市・建築科 都市工学コース

(4組) 氏名 前田詩音 花園隆斗 西行谷朋史

令和8年3月、武生商工高校に最も近い駅「しきぶ駅」が開業します。私たちが心待ちにしている新駅に何か貢献できることはないかを考え、プランターをつくりプレゼントすることにしました。これは都市工学コースにおけるプランターブルの記録・発表です。

写真

5



6

発表テーマ：ホラーゲーム制作

発表者 電気情報科

(3組) 佐武聖茉 岸梅京吾 野呂田あいはる

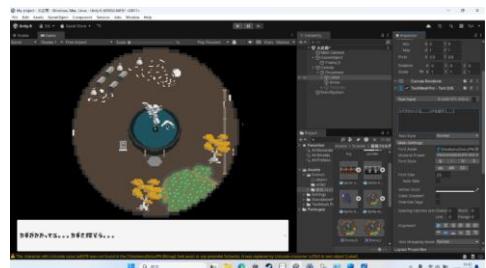
説明

授業で学んだプログラミングを用いてホラーゲームの制作をした。

ストーリーを決めて、臨場感（恐怖）を表現するにはどうすればよいかを考え、ステージ構成や、効果音・タイミングなどを工夫した。

キャラクターやステージの当たり判定の設定、場面の切り替え、コマンドの設定などを行った。何度もバグが起こり、デバッグ作業に苦労した。

写真



発表テーマ：学びと挑戦を形に！高校生の越前市探究プロジェクト

発表者 商業マネジメント科

(5・6組) 氏名 山田 紗香、青木 美也、竹澤 奈那、林 胡桃

説明 本活動は、越前市役所各課や地域の方々と協働・連携し、「しきぶ駅に設置する周辺マップのデザイン製作」や「武生菊人形や越前市内のガイド活動」を行いました。この活動を通じて、越前市の魅力を再発見するだけでなく、地域の方々や専門家との対話を通し、「自分事」として越前市の文化や歴史・観光への理解や関心を深めることや、「対”人”のプロ」を目指すことを目的としています。本日はこの1年間の活動やその成果について発表します。私たちがこの活動を通じて成長したプレゼン力にもご注目ください！

7

